

HBG 広島文化学園大学・短期大学 公開講座 「ヒロシマと音楽」

専門家による講演、本学講師の演奏、卒業生制作の映像等を通して、
「ヒロシマと音楽」（原爆音楽）をテーマにした公開講座を開催します。

この講座では、観光都市・広島を音楽という断面で切り取り、“広島”から“ヒロシマ”、
そして“広島”につながる歴史を再認識していくことで、
国内外からの来広者に対して「心で感じる観光」を提供できる人材、
ひいては、地域の観光産業を担う人材の育成に寄与していくことをめざしています。

日 時：令和4年11月13日（日）

14：00（開場13：30）～ 16：00終了予定

場 所：広島文化学園大学 広島 長束キャンパス

本館5階 0501音楽講義室

対 象：成人 80人（申込順）

参加費：1,000円（当日会場で）

申 込：右のQRコードから、または電話(082-239-5171代)で
お申込みください。



講 演： 「音楽はいかにヒロシマを伝えてきたか」
講師 原田 宏司

演 奏： ① 竹西正志作曲 《哀傷Ⅰ》《哀傷Ⅱ》
ピアノ 末永 雅子

② 青英権作曲 組曲《ひろしま》から終曲「共生」
山田耕筰作曲 「しろばらの」
古関裕而作曲 「歌謡ひろしま」
原 守夫作曲 「永遠のみどり」
テノール 藤井 雄介
ピアノ 多田 愉可

映 像： 「僕らのハチロク」

お話 丁 美佳（本学卒業生・カワイ音楽教室講師）

司 会： 和田 玲子



講師 原田宏司

Profile 1939年、広島生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。専門は西洋音楽史学。
主要著・訳書に、R.カークパトリック『ドメニコ・スカララッティ』（音楽之友社）、
『鳴り響く思想—現代のベートーヴェン像』（共著・東京書籍）、I.キーズ『ブラームス
の室内楽』（日音楽譜出版）、『ヒロシマと音楽』（汐文社）、『広島のをらべ歌』（柳
原出版）など。1995年～2002年、中国放送主宰の「ヒロシマと音楽」実行委員会の初代
委員長を務めた。現在、広島大学名誉教授、広島文化学園大学・短期大学名誉教授。
2020年春の叙勲で、瑞宝中綬章を受賞した。

HBG 広島文化学園大学・短期大学

〒731-0136 広島県広島市安佐南区長東西3-5-1

Tel：082-239-5171(代) Fax：082-239-2863

<会場へのアクセス>

【バス利用】広島交通「広島文化学園大学・短期大学」行き
または「文化学園・祇園が丘」行きで

「広島文化学園大学・短期大学」バス停下車

【JR利用】JR可部線「安芸長束」駅下車、約800m

【駐車場】あり

主 催：広島文化学園大学・短期大学

共 催：広島文化学園大学・短期大学：社会連携センター 後援：一般社団法人広島県観光連盟（HIT）